

2021年3月24日

タイにおけるバイオ・循環・グリーン経済政策について

バンコク事務所長 隈本 篤志

1. タイの環境の現状と政府の方針

バンコク市内の大気汚染は年々悪化しており、特に乾季の11月から3月の期間は、空気質指数（AQI）の値が健康に影響するとされる100を超え、霞みがかかった日が続く（写真1）。バンコクに本部を置く国連アジア太平洋経済委員会（ESCAP）は、本年1月に発表した調査結果¹で、タイの大気汚染の改善について、農業廃棄物を焼却せずに有効活用することや、



（写真1）当事務所から見た市内

長期的には都市交通をゼロエミッション化すること等の必要性を訴えている。また、広範囲に甚大な被害を及ぼした2011年の大洪水では、気候変動の影響が指摘されるなど、タイにとって環境問題は喫緊の課題となっている。

タイでは、新型コロナウイルスの影響により、2020年のGDP成長率は前年比マイナス6.1%となるなど、経済に大きなダメージを受けている。このため、タイ政府は本年1月13日に経済委員会を開催し、コロナ後の経済政策として、以前から取り組んでいるバイオ・循環・グリーン（BCG）分野の経済を、2021年～26年の国家目標に据えると表明した。取り組む領域は、（1）食品と農業、（2）医療と健康、（3）バイオエネルギーやバイオ素材、（4）持続可能なツーリズムの4分野とし、低炭素社会や環境破壊を伴わない経済の安定成長を目指す。政策推進には国外からの技術導入や投資が重要とされており、BCG分野は従来からの長期経済政策であるタイランド4.0とも親和性が高いため、同分野での外国投資に対して、タイ投資委員会（BOI）により税制上の恩典等が付与される。

2. BCG分野における日本の中小企業の取組み

多くの日系企業が進出しているタイでは、BCG分野においても日本の中小企業が活躍している。クモの糸の遺伝子から特殊な繊維を作る、ベンチャー企業のスパイバー社（山形県）は、バンコク東部のラヨン県に工場を開設し、化学資源に依存しない、環境性に優れた新素材の材料となるタンパク質の製造を計画している。同社は、日本国内の生産ではコストが課題となっていたが、タイで量産

¹ <https://www.unescap.org/blog/deciphering-black-box-air-pollution-data-thailand>

することにより採算ベースに乗ると見込んでいる。

タイの基幹産業である自動車分野においては、低炭素化が推進されており、バイオ燃料や電気自動車（EV）産業へのBOIによる税制等の特典が付与される。ベンチャー企業である FOMM 社（神奈川県）は、4人乗り小型EVをタイで生産販売しており、日本でも本年中にタイから輸入して販売を開始する。

また、屋内で人工光により植物を栽培する植物工場は、医薬品等に使用する薬草や、無農薬野菜などの栽培に適しているとされており、昨年BOI特典が追加された。日本で植物工場の設備機器を手掛ける大気社（東京都）は、植物工場の海外展開を目指し、アユタヤ県においてレタスや水菜などの試験栽培を行っており、特典追加により、実用化後の植物工場の普及促進が見込まれる。

3. 福岡県の実践

県主催のビジネスマッチング等の機会を通じて福岡県を何度も訪問しており、県内企業の保有する技術力を高く評価し、共同研究を行っている、キングモンクット工科大学のピンペン教授について紹介したい。同教授は、BCG分野でタイ政府からの委託を受け、農家の所得向上を目的とした研究を行っている。現在取り組んでいるテーマのひとつが、マンゴスチン果皮から有効成分を抽出する研究である。非可食部である厚い果皮には、ポリフェノールの一種であるキサントンが豊富に含まれている。抽出物は非常に高価で売買されるが、非水溶性のため抽出にエタノールを使用するなど、コストに課題を抱えており、膨大な量の果皮が農業廃棄物となっている。そのため、食品加工技術を活用して低コストで抽出するための共同研究を行う企業を探したいと、当事務所にご相談いただいた。このテーマに限らず、食品加工技術で共同研究を希望される企業にあっては、ぜひ当事務所にご連絡いただきたい。

福岡県は、タイの学校や行政機関における環境教育への協力や、廃棄物最終処分場への福岡方式²の導入支援など、タイにおける環境政策に寄与しており、タイ政府からも高く評価されている。また、県内には、加工食品、バイオテクノロジー、環境対応自動車、水素エネルギーなど、BCG分野で求められる技術を保有する企業が多く所在している。タイのBCG経済に参入することで、SDGs³における国際貢献だけにとどまらず、県内企業のビジネスチャンス創出の可能性があると考えられるため、当事務所では引き続き、タイおよびASEANにおけるBCG経済の動向をフォローしていきたい。

² <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuokamethod-guide.html>

³ 国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）

（参考）外務省 WEB サイト：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>